

基本情報

科目名	日本国憲法
時間割コード	0450110501
ナンバリングコード	A11013-L-12
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2024年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	寺本 奈津樹
科目区分	共通科目 人間と生活の理解
必選区分	選択

担当教員情報

教員名
寺本 奈津樹

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目は、憲法の特徴、基本的人権の保障、権力分立、国家との関係をおさえながら、日本国憲法の各条文を通して、日本国憲法の根底にある考え方を学ぶ。 学修者は、憲法の特徴を理解し、国家・権力分立を踏まえ、基本的人権がどのように保障されているのかを理解できるようになる。あわせて、日本国憲法と他の法規・条約との関係を意識しながら、日本国憲法の各条文の解釈に基づき、現代社会の諸問題を考えることができるようになる。
履修上の注意事項	・理解度を確認するために、授業内で小テストを実施します。実施日や範囲は事前に連絡します。 ・他の科目との関連を意識して、授業に臨んでください。 ・単に条文を暗記するのではなく、その条文が置かれた背景や意義、現代における解釈の問題点に着目するようにしましょう。 ・わからないことは、積極的に質問してください。 ・授業の進行は、理解度に応じて変更する場合がありますが、その際には事前に連絡します。
評価方法	授業に関する小レポート15%、小テスト15%、定期試験70%で評価する。 フィードバックとして、授業に関する小レポートや小テストにコメントする。
テキスト	・阪本昌成編著『謎解き 日本国憲法〔全訂第3版〕』（有信堂高文社、2024年） ・野崎和義監修＝ミネルヴァ書房編集部編『ミネルヴァ社会福祉六法2024〔令和6年版〕』（ミネルヴァ書房、2024年）
参考文献	・初宿正典＝高橋正俊＝米沢広一＝棟居快行『いちばんやさしい憲法入門〔第6版〕』（有斐閣、2022年） ・その他、授業内で適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業の有無	無
実務経験・実務経験を活かした教育内容	
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	・アクティブ・ラーニングとして、適宜ディスカッションを行う。積極的に参加することを期待する。 ・毎回Formsを用いて理解度を確認しながら授業を進める。

授業計画

授業計画
・授業は、レジュメとテキストをもとに進める。 ・授業で使用するレジュメは、事前にCampusSquareにアップロードする。 ・本科目では各条文を参照しながら授業を行うため、『ミネルヴァ社会福祉六法2024〔令和6年版〕』を持ってくること。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション：授業の進め方、注意事項の説明 イントロダクション：憲法の特徴、人権、権力分立	事前：レジュメ（第1回）、テキスト（はじめに・序章）を読み、わからない語句や用語については意味を調べておく。（2時間） 事後：レジュメとテキストを読み直し、授業内容を整理する。条文を再度確認する。授業に関する小レポートや小テストのコメントを読み、授業内容を復習する。（2時間）	授業の進め方、注意事項、授業に関する小レポートの提出、小テスト、評価について詳しく説明します。

授業計画

- ・授業は、レジュメとテキストをもとに進める。
- ・授業で使用するレジュメは、事前にCampusSquareにアップロードする。
- ・本科目では各条文を参照しながら授業を行うため、『ミネルヴァ社会福祉六法2024 [令和6年版] 』を持ってくること。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
2	立憲国家と憲法：絶対王政、自然権、立憲国家の憲法の特徴	事前：レジュメ（第2回）、テキスト（第1章）を読み、わからない語句や用語については意味を調べておく。（2時間） 事後：レジュメとテキストを読み直し、授業内容を整理する。条文を再度確認する。授業に関する小レポートや小テストのコメントを読み、授業内容を復習する。（2時間）	
3	日本国憲法の制定と基本原則：明治憲法の特徴、日本国憲法の基本原則、憲法改正	事前：レジュメ（第3回）、テキスト（第2章）を読み、わからない語句や用語については意味を調べておく。（2時間） 事後：レジュメとテキストを読み直し、授業内容を整理する。条文を再度確認する。授業に関する小レポートや小テストのコメントを読み、授業内容を復習する。（2時間）	
4	人権の基礎、範囲と制約：自由、人間の尊厳、個人の尊重、人権保障の範囲、公共の福祉	事前：レジュメ（第4回）、テキスト（第3章）を読み、わからない語句や用語については意味を調べておく。（2時間） 事後：レジュメとテキストを読み直し、授業内容を整理する。条文を再度確認する。授業に関する小レポートや小テストのコメントを読み、授業内容を復習する。（2時間）	
5	平等な社会に不可欠の人権：法の下の平等、差別の問題、憲法違反の差別	事前：レジュメ（第5回）、テキスト（第4章p79～p89）を読み、わからない語句や用語については意味を調べておく。（2時間） 事後：レジュメとテキストを読み直し、授業内容を整理する。条文を再度確認する。授業に関する小レポートや小テストのコメントを読み、授業内容を復習する。（2時間）	
6	平等な社会に不可欠の人権：選挙権の平等、投票価値の平等、家族をめぐる平等問題	事前：レジュメ（第6回）、テキスト（第4章p89～p99）を読み、わからない語句や用語については意味を調べておく。（2時間） 事後：レジュメとテキストを読み直し、授業内容を整理する。条文を再度確認する。授業に関する小レポートや小テストのコメントを読み、授業内容を復習する。（2時間）	
7	平等な社会に不可欠の人権：生存権、高齢社会と社会保障	事前：レジュメ（第7回）、テキスト（第4章p100～p104）を読み、わからない語句や用語については意味を調べておく。（2時間） 事後：レジュメとテキストを読み直し、授業内容を整理する。条文を再度確認する。授業に関する小レポートや小テストのコメントを読み、授業内容を復習する。（2時間）	

授業計画

- ・授業は、レジュメとテキストをもとに進める。
- ・授業で使用するレジュメは、事前にCampusSquareにアップロードする。
- ・本科目では各条文を参照しながら授業を行うため、『ミネルヴァ社会福祉六法2024 [令和6年版] 』を持ってくること。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
8	自由な社会に不可欠の人権：信教の自由、政教分離、思想・良心の自由	事前：レジュメ（第8回）、テキスト（第5章p105～p114）を読み、わからない語句や用語については意味を調べておく。（2時間） 事後：レジュメとテキストを読み直し、授業内容を整理する。条文を再度確認する。授業に関する小レポートや小テストのコメントを読み、授業内容を復習する。（2時間）	
9	自由な社会に不可欠の人権：表現の自由、表現の内容規制、内容中立規制、マス・メディア、インターネット	事前：レジュメ（第9回）、テキスト（第5章p114～p127）を読み、わからない語句や用語については意味を調べておく。（2時間） 事後：レジュメとテキストを読み直し、授業内容を整理する。条文を再度確認する。授業に関する小レポートや小テストのコメントを読み、授業内容を復習する。（2時間）	
10	自由な社会に不可欠の人権：職業選択の自由、居住・移転の自由、財産権、社会国家、労働基本権	事前：レジュメ（第10回）、テキスト（第5章p127～p140）を読み、わからない語句や用語については意味を調べておく。（2時間） 事後：レジュメとテキストを読み直し、授業内容を整理する。条文を再度確認する。授業に関する小レポートや小テストのコメントを読み、授業内容を復習する。（2時間）	
11	自由な社会に不可欠の人権：幸福追求権、プライバシー、自己情報コントロール権、自己決定権	事前：レジュメ（第11回）、テキスト（第5章p140～p149）を読み、わからない語句や用語については意味を調べておく。（2時間） 事後：レジュメとテキストを読み直し、授業内容を整理する。条文を再度確認する。授業に関する小レポートや小テストのコメントを読み、授業内容を復習する。（2時間）	
12	国民の代表機関 としての国会：国会の地位と権限、国会の構成と活動、議院の構成と権限	事前：レジュメ（第12回）、テキスト（第6章）を読み、わからない語句や用語については意味を調べておく。（2時間） 事後：レジュメとテキストを読み直し、授業内容を整理する。条文を再度確認する。授業に関する小レポートや小テストのコメントを読み、授業内容を復習する。（2時間）	
13	国民の代表機関 としての内閣：議院内閣制、内閣の構成とはたらき、行政国家、地方自治	事前：レジュメ（第13回）、テキスト（第7章）を読み、わからない語句や用語については意味を調べておく。（2時間） 事後：レジュメとテキストを読み直し、授業内容を整理する。条文を再度確認する。授業に関する小レポートや小テストのコメントを読み、授業内容を復習する。（2時間）	

授業計画

- ・授業は、レジюмеとテキストをもとに進める。
- ・授業で使用するレジюмеは、事前にCampusSquareにアップロードする。
- ・本科目では各条文を参照しながら授業を行うため、『ミネルヴァ社会福祉六法2024〔令和6年版〕』を持ってくること。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	司法権と裁判所：司法権の範囲と限界、裁判所の構成、裁判の公開、司法権の独立、裁判官の身分保障	事前：レジюме（第14回）、テキスト（第8章p183～p193）を読み、わからない語句や用語については意味を調べておく。（2時間） 事後：レジюмеとテキストを読み直し、授業内容を整理する。条文を再度確認する。授業に関する小レポートや小テストのコメントを読み、授業内容を復習する。（2時間）	
15	司法権と裁判所：憲法の番人、違憲審査、国民の司法参加と裁判員制度、被告人の権利、被害者の参加	事前：レジюме（第15回）、テキスト（第8章p193～p198）を読み、わからない語句や用語については意味を調べておく。（2時間） 事後：レジюмеとテキストを読み直し、授業内容を整理する。条文を再度確認する。授業に関する小レポートや小テストのコメントを読み、授業内容を復習する。（2時間）	

基本情報

科目名	体育
時間割コード	0450110901
ナンバリングコード	A11013-LS-12
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2024年度 第1学期
曜限	火 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	陶山 三千也
科目区分	共通科目 人間と生活の理解
必選区分	選択

担当教員情報

教員名
陶山 三千也

詳細情報

授業の目的・到達目標	心身の健全な発達の促進、健康やスポーツに内在する楽しみや技能、健康・体力の保持増進、向上・増進のための運動処方など、総合的・実践的に「生涯スポーツ」として、スポーツや身体運動を定期的に実施する習慣を身に付け、自らが把握できるようになる。
履修上の注意事項	現代社会における「スポーツや身体運動」の役割が、いかに重要で大切かを理解し、積極的に楽しく実技科目（身体運動や各種スポーツ種目）に参加して、その必要性を実感していただきたい。 実技の授業は、運動のできる体操服・運動靴を着用して参加すること、普段着での参加は認めない。 体操服は、クラブ・サークル等のユニホームや高校時使用のもので構いません。運動靴は、外履き用と体育館シューズを準備してください。
評価方法	2 / 3以上の出席者に対して ・自主的学習態度や積極的な受講態度・・・80％ ・課題レポートや運動技能等・・・20％ で、総合評価します。 授業の目的・到達目標が達成できたかを各種目終了後に「課題レポート」の提出を求め、併せて「受講態度や受講状況」についての授業評価や自己評価で授業の振り返りを行う。
テキスト	使用しない
参考文献	特に、ありません。
実務経験のある教員による授業の有無	無
実務経験・実務経験を活かした教育内容	
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	実施する「スポーツ種目」球技（ベースボール型・ネット型・ゴール型）の3つの型のゲームの特徴、得点の仕方、ゲームの進めた方などについて、事前に確認しておく必要がある。 そのために今までに経験のないスポーツ種目については、特に運動技能のシュミレーションや練習方法・試合やゲーム運営などを調べておく必要がある。

授業計画

授業計画
九州看護福祉大学において、実技授業実施可能な種目として3つの型の球技種目を実施いたします。 ・ベースボール型種目（ソフトボール・フットベースボール（いずれか選択）：2コマ） ・ネット型種目（バレーボール・バドミントン：各4コマ） ・ゴール型種目（バスケットボール：4コマ） （14コマ）＋ガイダンス（1コマ）計15コマ：事前学修各2時間・事後学修各2時間
形態ごとに学習する運動種目やスポーツ種目について、それぞれの球技種目の特性や成り立ち、技術や名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを事前に学修し、スムーズな授業展開に繋げるようにする。事前の学習内容は、時間ごとに計画されている授業（練習）内容について理解しておくことが大切である。事後は、提出された「課題レポート」などにより、授業の振り返りを行う。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	教科ガイダンス		
2	ソフトボール/フットベースボール ボールの投げ方、蹴り方、捕球の仕方が うまくなるようになる		
3	ソフトボール/フットベースボール 守りの関係プレーができるようになる		

授業計画

九州看護福祉大学において、実技授業実施可能な種目として3つの型の球技種目を実施いたします。

- ・ベースボール型種目（ソフトボール・フットベースボール（いずれか選択）：2コマ）
 - ・ネット型種目（バレーボール・バドミントン：各4コマ）
 - ・ゴール型種目（バスケットボール：4コマ）
- （14コマ）+ ガイダンス（1コマ）計15コマ：事前学修各2時間・事後学修各2時間

形態ごとに学習する運動種目やスポーツ種目について、それぞれの球技種目の特性や成り立ち、技術や名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを事前に学修し、スムーズな授業展開に繋げるようにする。事前の学習内容は、時間ごとに計画されている授業（練習）内容について理解しておくことが大切である。事後は、提出された「課題レポート」などにより、授業の振り返りを行う。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
4	バスケットボール 対人でのパスとグループでのパスワーク ができるようになる		
5	バスケットボール ドリブルとセットシュート・ランニングシュート・ジャンプシュートができるようになる		
6	バスケットボール チームプレイ・コンビネーションプレイ ができるようになる		
7	バスケットボール ゲームと審判ができるようになる		
8	バドミントン 各種フライトを対人で連続して打ち合う ことができるようになる		
9	バドミントン サーブとリターンで2つ以上のストローク ができるようになる		
10	バドミントン ドロップ→ヘアピン→クリアーを連続で 出来るようになる		
11	バドミントン グループ別リーグ戦ができるようになる		
12	バレーボール 対人でのパスとレシーブがができるよう になる		
13	バレーボール グループでのパスとレシーブ、サーブが できるようになる		
14	バレーボール 攻め守りのフォーメーションができるよ うになる		
15	バレーボール 3段攻撃を使ってゲームができるよう になる		

基本情報

科目名	英会話
時間割コード	0450120401
ナンバリングコード	A11021-L-11
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2024年度 第1学期
曜限	水 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	Fiona Wall Minami
科目区分	共通科目 ことばと文化
必選区分	必修

担当教員情報

教員名
Fiona Wall Minami

詳細情報

授業の目的・到達目標	Class Goals: 1. To develop English speaking and listening skills through group work. 2. To develop confidence in English communication ability. 3. To learn English that will be useful for a range of situations including daily life, travel and work.
履修上の注意事項	Notebook or looseleaf paper. Electronic or paper dictionary (Smart phone may be used if students don't have a dictionary)
評価方法	Review Notes 30% Roleplay/Presentation 30% Speaking Test/Class Participation 40% Students will receive written feedback on their review notes and verbal feedback on their roleplay/presentation.
テキスト	TALK A LOT 1 Second Edition ISBN: 4580244420117 Author: David Martin Publisher: EFL Press
参考文献	No other books required.
実務経験のある教員による授業の有無	無
実務経験・実務経験を活かした教育内容	No medical related work experience.
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	All classes will involve active communication in English. Students are expected to use English as the main language in class.

授業計画

授業計画
Class Goals: 1. To develop English speaking and listening skills through group work. 2. To develop confidence in English communication ability. 3. To learn English that will be useful for a range of situations including daily life, travel and work. Preview each unit before class checking for new vocabulary and expressions.(2 hours) After each unit, write a review of what you learned, your comments on the class and any questions you want to ask the teacher. It is also recommended to do extra study such as writing a diary in English, preparing for Eiken or TOEIC exam, reading books in English, etc. Keep a note of the extra study you are doing.(2 hours)

No.	内容 (担当)	事前・事後学修	備考
1	Introductions	Unit 1	Explanation of grading and class requirements
2	Interests	Unit 2	

授業計画

Class Goals:

1. To develop English speaking and listening skills through group work.
2. To develop confidence in English communication ability.
3. To learn English that will be useful for a range of situations including daily life, travel and work.

Preview each unit before class checking for new vocabulary and expressions.(2 hours)

After each unit, write a review of what you learned, your comments on the class and any questions you want to ask the teacher.

It is also recommended to do extra study such as writing a diary in English, preparing for Eiken or TOEIC exam, reading books in English, etc.

Keep a note of the extra study you are doing.(2 hours)

No.	内容 (担当)	事前・事後学修	備考
3	Family	Unit 3	
4	Describing people	Unit 4	
5	Jobs and time	Unit 5	
6	Past experiences	Unit 6	
7	Sports and countries	Units 7 & 8	
8	Have you ever?	Unit 9	
9	Places and directions	Unit 10	
10	Japanese culture	Unit 12	
11	Travel English	Units 11 & 15	Roleplay practice
12	Roleplays	Units 11 & 15	Roleplay test
13	Health	Unit 16	Review notes deadline
14	Review	Unit 17	Speaking test practice
15	Conversation	Speaking test	Speaking test

基本情報

科目名	情報リテラシー
時間割コード	0450130201
ナンバリングコード	A11031-S-05
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2024年度 第1学期
曜限	火 5
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	檜枝 洋記
科目区分	共通科目 科学的思考の基盤
必選区分	必修

担当教員情報

教員名
檜枝 洋記

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目の目的は、高校における「情報」の履修を踏まえ、大学生活でも、社会に出ても必要とな「情報活用力（情報リテラシー能力）」を高めていくことである。 これにより、これからの高度情報化社会に対応したデジタル情報環境を自ら積極的に、問題解決などのために利活用できるようになることを目指す。（本学ディプロマシー）
履修上の注意事項	授業は、コンピュータ室のWindowsパソコンを使い、双方向授業システムWingNetを用いて実施する。 。パソコンの基本操作が充分理解できていない学生は事前に予習をしておくことが求められる。 本科目だけでなく他の科目の授業や日常生活で、遊びながらパソコンを利用することが上達の近道である。
評価方法	課題レポートと、筆記・実技試験の結果を総合的に判断する。 配点は、レポート30%、試験70%。再試験は行なう。 フィードバックとして、質問等は随時受け付ける。
テキスト	「情報倫理ハンドブック」noa出版
参考文献	講義中に、適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業の有無	無
実務経験・実務経験を活かした教育内容	
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	反転講義型のアクティブラーニングを行なう。 配布した資料で、事前に演習内容や演習方法について学び、実際の講義で演習を行なって確認してもらう。初回の講義で、進め方について案内する。

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	情報教育システムの利用について（檜枝）	事前：キーボードの使い方、キーの呼び方や記号の読みを確認しておく（2時間） 事後：授業内容を復習し、他のコンピュータ室の場所や設備を確認する（2時間）	
2	E-mailの利活用（檜枝）	事前：E-mailに関する事前配布資料を読んで予習する（2時間） 事後：スマホや自宅のPCで、Office365を使ってみる（2時間）	
3	Wordの基本操作 日本語入力、段落設定、段組み等（檜枝）	事前：フォントに関する事前配布資料を読んで予習する（2時間） 事後：復習のためのレポート課題を演習し、提出する（2時間）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
4	Wordの基本操作 罫線、図の挿入等（檜枝）	事前：Wordの罫線と図に関する事前配布資料を読んで予習する（2時間） 事後：復習のためのレポート課題を演習し、提出する（2時間）	
5	Wordの基本操作 図形描画、曲線とフリーフォーム（檜枝）	事前：Wordの図形描画に関する事前配布資料を読んで予習する（2時間） 事後：復習のためのレポート課題を演習し、提出する（2時間）	
6	文献検索（福本／図書館）、インターネットの利活用（檜枝）	事前：インターネットに関する事前配布資料を読んで予習する（2時間） 事後：復習のためのレポート課題を演習し、提出する（2時間）	
7	情報モラル、情報セキュリティについて（檜枝）	事前：テキストの指定箇所を読んで予習する（2時間） 事後：復習のためのレポート課題を演習し、提出する（2時間）	
8	Excelの基本操作 データ入力、表作成等（檜枝）	事前：Excelの基礎に関する事前配布資料を読んで予習する（2時間） 事後：復習のためのレポート課題を演習し、提出する（2時間）	
9	Excelの基本操作 グラフ作成（檜枝）	事前：Excelのグラフに関する事前配布資料を読んで予習する（2時間） 事後：復習のためのレポート課題を演習し、提出する（2時間）	
10	Excelの基本操作 コピーと移動、絶対参照と相対参照等（檜枝）	事前：セルのコピーと移動に関する事前配布資料を読んで予習する（2時間） 事後：復習のためのレポート課題を演習し、提出する（2時間）	
11	Excelによるデータ処理 様々な関数の利用（檜枝）	事前：Excelの関数に関する事前配布資料を読んで予習する（2時間） 事後：復習のためのレポート課題を演習し、提出する（2時間）	
12	Excelによるデータ処理 並べ替え、フィルター等（檜枝）	事前：Excelのデータ処理に関する事前配布資料を読んで予習する（2時間） 事後：復習のためのレポート課題を演習し、提出する（2時間）	
13	Excelによるデータ処理 ピボットテーブル（檜枝）	事前：Excelのピボットテーブルに関する事前配布資料を読んで予習する（2時間） 事後：復習のためのレポート課題を演習し、提出する（2時間）	
14	Powerpointの基本操作 入力、テーマ設定 等（檜枝）	事前：Powerpointの基礎に関する事前配布資料を読んで予習する（2時間） 事後：復習のためのレポート課題を演習し、提出する（2時間）	
15	Powerpointの基本操作 画面切り替え、アニメーション 等（檜枝）	事前：Powerpointの基礎に関する事前配布資料を読んで予習する（2時間） 事後：復習のためのレポート課題を演習し、提出する（2時間）	